

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成19年3月15日(2007.3.15)

【公開番号】特開2005-222627(P2005-222627A)

【公開日】平成17年8月18日(2005.8.18)

【年通号数】公開・登録公報2005-032

【出願番号】特願2004-30099(P2004-30099)

【国際特許分類】

G 11 B 20/10 (2006.01)

G 11 B 20/12 (2006.01)

H 04 N 5/85 (2006.01)

H 04 N 5/91 (2006.01)

【F I】

G 11 B 20/10 3 1 1

G 11 B 20/12 Z

H 04 N 5/85 E

H 04 N 5/91

【手続補正書】

【提出日】平成19年1月26日(2007.1.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可変長の文字列情報を記録するデータの記録方法であって、
記録する記録データは、

文字列情報の表示時刻開始時刻を示す表示開始時刻情報と、
文字列情報の表示期間を示す表示期間情報と、

文字列情報と、

無効データとを含み、

上記無効データのバイト数は、上記記録データが所定バイト数の整数倍になるように付
加することを特徴とするデータ記録方法。

【請求項2】

可変長の文字列情報を記録するデータの記録方法であって、
記録する記録データは、

文字列情報の表示時刻開始時刻を示す表示開始時刻情報と、
文字列情報の表示期間を示す表示期間情報と、

文字列情報の長さを示す文字列長さ情報と、

文字列情報と、

無効データとを含み、

上記無効データのバイト数は、上記記録データが所定バイト数の整数倍になるように付
加することを特徴とするデータ記録方法。

【請求項3】

請求項1ないし請求項2に記載のデータ記録方法であって、

上記データのデータ長は、192バイトの整数倍であることを特徴とするデータ記録方
法。

【請求項 4】

情報を記録する記録媒体であって、
請求項 1ないし請求項 2ないし請求項 3に記載のデータ記録方法によりデータが記録されていることを特徴とする記録媒体。

【請求項 5】

記録媒体から情報を再生する再生装置であって、
請求項 4に記載の記録媒体を再生することを特徴とする再生装置。

【請求項 6】

可変長の文字列情報を記録するデータの記録方法であって、
記録する記録データは、
文字列情報の表示時刻開始時刻を示す表示開始時刻情報を含むことを特徴とするデータ記録方法。